

思いやり

第 1 号
〔発行日〕
平成31年4月24日
〔発行所〕
名農高生徒指導部



新学期スタート

4月1日に新元号が発表され新年度がスタートしました。そして5月1日からは、新しい元号の『令和』が始まります。

4月8日に入学式が行われ新入生を迎えました。そして翌日の始業式と続き、平成31年度が始まりました。皆さんも、新しい気持ちになって、これからの高校生活をしっかりやって行こうと思っていることと思います。

さて、テレビでも話していましたが、「令和」の意味を確認してみましょう。これは一文字ずつ離れていた文字を一つにまとめた物で、万葉集の梅の花32首の序文から取り入れました。「初春の令月にして気淑（よ）く風和（やわら）ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香りを薰（かお）らす。」という句から引用されているようです。梅の開花とともに、春の訪れを喜んだ内容です。春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした願いを込めて決定したようです。令和の令は、「令月」という【何事をするのにもよい月。めでたい月】という意味でおめでたい言葉なのです。和は、和（やわ）らかな、しなやかな、穏（おだ）やかな、という意味があります。さて、皆は「令和」をどんな時代に作り上げていくのでしょうか。その礎をここ名久井農業高等学校でしっかりと築いていきましょう。



『第1回の服装・容儀指導』が行われました。

今年度第1回目の服装・容儀指導が行われました。

なぜ服装・容儀指導をするのでしょうか？みんなもある程度は、理解していると思います。普段家にいるときは、部屋着で済ませていると思いますが、どこかに買い物に行くときなどの外出するときは、身なりを整えて出かけていると思います。現代のファッションは、様々な物が流行していますが、フォーマルウェアは普遍的な物です。どこにでも通用する服装です。そのために、どこでも通用する制服をみんなに、しっかりと着こなしてほしいと思っています。また、髪髪においても相手に不快感を与えるようでは、自分自身にとってもマイナスのイメージを与えてしまいます。装飾品についても、同じ事が言えると思います。【これくらい大丈夫だろう】という判断は、自分で判断するのですから、第三者が見ると、『それ、おかしくない？』という見方をされてしまいます。だから、服装・容儀指導では、複数の先生方から見てもらい『誰が見ても大丈夫。おかしくない。』と判断しているのです。それは、これからの社会に出て行くみんなに「T・P・O」を、しっかり身につけた大人になってほしいと願っているからです。

今回の指導で、74人が再検査となりましたが、次回は指導を受けることがないよう、自分自身で心がけてほしいと思います。自分の身なりは、自分でしっかりできることが大切です。

生徒の本分
勉強する・学校を休まない・きまりを守る